

国労の公然たる組織介入を弾劾する！

九日一三時から動力車会館において、動労千葉第四回拡大支部代表者会議が開催され、4・28(5・1)を中心とする動労「本部」暴力・窃盗集団による組織破壊「オルグ」粉砕の闘いの総括と当面の具体的取組みについて討議・決定した。会議は、水野組織部長を座長に進められ、関川委員長の挨拶に続いて中野書記長から「総括と当面の取組みについて」提案を受け、討論のあと万場一致、執行部提案を確認・決定した。この第四回支部代で決定された当面の取組みを全支部で着実に実行し、「本部」暴力集団による破壊攻撃を粉砕し、動労千葉のゆるぎない組織体制を築き上げよう。

四日間「オルグ」破産を自認する「本部」暴力集団！

動労「本部」は4・28(5・1)の四日間にわたる動労千葉破壊「オルグ」をもって、「千葉地本再建」の旗上げをめざし「短期決戦」最後の全国動員」と称して、全国から動員者をかき集めたのである。

しかし、われわれは動労「本部」の意図を完全に見抜き、彼らの動きを徹底的に封じ込め、肩すかしを行なうなど連日創意ある対応策をもって闘ってきた。

この四日間「オルグ」の中で「動労本部オルグ」団の内部における意識分裂はおおい難いものがあり、逆に「本部」に対する批判すら飛び出す始末であった。

一四〇〇組合員の固い団結力の前に、「確認書」は一人として獲得できず、「千葉地本再建」のくろみは、完全にふきとんでしまったのである。

そして、五月一日、社会文化会館において開催された総括集会における「千葉に入れたことが成果であった」とか「全国大会までに支部をつくる」などと言う「本部」発言でも明らかのように四日間「オルグ」の破産を自ら認めざるを得なかったのである。

全支部の結成大会、団結署名貫徹を断固かちとろう！

四日間「オルグ」を中心とする動労「本部」暴力・窃盗集団からの悪辣な組織破壊攻撃に対する闘いは、文字通りこの暴力・窃盗集団との闘いに一つ一つ勝利しつつ、同時に、極めて困難な状況の中で、四月一八日の津田沼支部をはじめとする八支部における結成大会の圧倒的成功をつぎつぎと勝ちとり、われわれ動労千葉の着実な前進がかちとられている。

コソ泥的国労の組織介入攻撃！

今、われわれは「動労本部」暴力・窃盗集団による組織破壊攻撃を完全に粉砕し勝利したことを確認しつつ、現実には国鉄労組の極めて卑劣なコソ泥的組織介入、切り崩しに対し全力で闘い抜かなければならない。

国鉄労組は「動力車職場の皆さんに訴える」なる五月二日付のビラを作成し、各職場に大量に持ち込み、中味の無い「一企業一組合論」をもって公然と動力車職場における組織拡大のり出した。

この国鉄労組の組織拡大方針がいかに卑劣でこソ泥的であるかは、この間のわが動労千葉の一つ一つの具体的闘いと国労のそれと比較すれば明らかであるばかりか、共闘関係にある両組合の間を完全に破壊する行為である。

われわれは、こうした国鉄労組が公然と開始した組織介入、こソ泥的組織切り崩し攻撃に対し、一四〇〇組合員の強固な団結をもって断固闘い抜こうではないか。

そしてなによりもわれわれは、一四〇〇名が団結して「本部」暴力集団の組織破壊攻撃と闘っているときに、一人だけ棄をし、自分のことだけを考え、団結をみだし、国鉄労組に逃亡しようとする卑劣な部分に対し、仲間を敵に売り渡す裏切り分子として徹底的に追及しなければならぬ。動労千葉一四〇〇は一層強固な団結で、あらゆる組織破壊攻撃を断固粉砕しよう。

労農連帯を一層強め、三里塚・ジェット闘争を貫徹しよう！

破壊「オルグ」に勝利を確認！

第4回拡大支部代表者会議

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉砕せよ！